

日本アーカイブズ学会 2016 年度大会プログラム

※タイトル、時間、会場等は変更となることがあります。

4月23日(土) 受付開始 12:30
会場 本部管理棟大会議室

13:00 ~ 15:00 総会※会員の方のみが参加できます

15:30 ~ 16:30 講演会

宮崎恒二氏(東京外国語大学 副学長)

「史資料の救出・保存とその活用：インドネシアでの経験から」

17:00 ~ 19:00 懇親会(会場 アゴラグローバル 1 階カフェテリア)

4月24日(日) 受付開始 9:00 ※会場近辺は昼食を取れる場所が少ないため、昼食を持参下さい

9:30 ~ 12:20 自由論題研究発表会

第1会場 本部管理棟大会議室

「イギリスにおける地方公文書館の創設と現在の課題：ベッドフォードシャー(Bedfordshire)の事例を中心に」

.....元ナミ

「米軍占領地域における民政文書管理と「処分」：USCARの「文書処分計画書」を事例に」

.....金子彩里香

「「自然なアーカイブズ」構想の理論的・実践的な意義：近現代ヨーロッパのアーカイブズ学の観点から」

.....Baryshev Eduard (パールィシェフ・エドワルド)

「日本とイギリスにおける児童福祉施設出身者(ケアリーヴァー)の記録へのアクセス：そのとき、彼らに必要な支援とは」.....阿久津美紀、徳永祥子

「記録管理の国際標準「ISO 30300シリーズ」の意義」.....小谷允志、渡邊健、山田敏史

第2会場 アゴラ・グローバル 3F プロジェクトスペース

「ISAD(G)の成立過程とその思想：問うべき課題は何か」.....橋本陽

「現代舞踊アーカイブズの編成の実践と課題：「石井漠資料」を事例として」.....蓮沼素子

「市民アーカイブ多摩における市民活動一次資料保存と公開の取り組み：「懸樋氏旧蔵電磁波運動資料」の整理を通じて」.....長島祐基

「音声記録の保存状況等調査とその分析：立教大学共生社会研究センターにおける FACET 適用の試み」

.....宇野淳子

「アーカイブズ展示照明の検証：LED 照明と蛍光灯の特性比較を中心に」.....高科真紀、青木睦

第3会場 アゴラ・グローバル 3F プロジェクトスペース

「機能分析方法論に関する比較的検討」.....大木悠佑

「フランク・ボールズによる「ミクロ・アプレイザル」の現代的意義：建築レコードを例に」.....齋藤歩

「文学資料における検索手段の考察：芥川龍之介資料を例に」.....渡辺彩香

「厚生官僚追悼録のアーカイブズ学的研究：公害問題の生じ方を例として」.....新嶋聡

14:00 ~ 17:00 企画研究会(会場 本部管理棟大会議室)

テーマ「アーカイブズ記述の未来－ライブラリー、ミュージアムとの比較から－」

モデレーター：田窪直規氏(近畿大学)

谷口祥一氏(慶應義塾大学文学部)「図書館目録における「記述」の現状と将来」

嘉村哲郎氏(東京藝術大学芸術情報センター)「ウェブ時代の博物館資料情報とデータモデル」

寺澤正直氏(国立公文書館)「アーカイブズ記述の国際標準に関する近年の動き」